



(スローガン)

『改進黨』天橋義塾の精神 ～強き心を持って新たなる時代へ～

第43代理事長 井上真哉

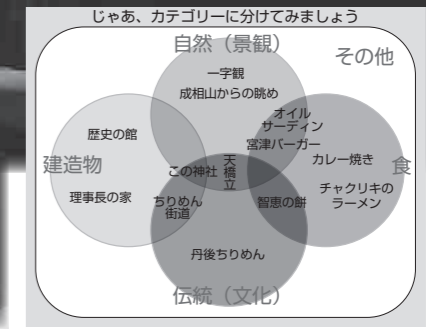
- 【基本方針】 1. 強き心をもって理想のまちを掲げよう 2. 強き心をもって挑戦しよう 3. 強き心を育もう

「WORK with LIFE, 新流儀! (ニュースタイル)」

～目の前にある魅力で あなたの仕事をデザインする～

日時:2010年9月16日(木)
場所:みやつ歴史の館

新しい地域経済の活性化の考え方を提案する事業を行いました。講演では、JCメンバーが講師となり、「あなたの仕事×地域の魅力=無限の可能性」という方程式をキーワードにして、プレーンストーミングを用いた新しい商品開発の考え方や地域活性化を発信しました。この地域の明るい未来を考える心地よい緊張感のある講演会となりました。



「相知相逢」～もっと知ろう相手のことを～

日時:2010年3月4日(木)
場所:みやつ歴史の館

姉妹JCである台湾大松山国際青年商會への公式訪問の前に、台湾の歴史や文化、そして大松山JCとの交流の歴史や意義を皆で勉強しました。今回の勉強会を通じて各々が改めて国際交流の大切さや意義を学ぶことが出来ました。



公益法人セミナー

日時:2010年4月15日(木)
場所:加悦保健センター
・与謝野町立農村環境改善センター(元気館)

公益法人制度改革を見据えた勉強会を開催し、一般社団法人と公益社団法人の違いなど、参加メンバーとの活発な意見交換が行われました。



天橋立世界遺産登録推進運動

「LOVERS Project 2010」

～絶対に伝えたい魅力が天橋立(ここ)にある～

日時:2010年7月30日(金)
場所:ホテル北野屋
ハーモニーホール

宮津高校、海洋高校、加悦谷高校に出前講座として訪問し、近年宮津JCの行った天橋立世界遺産登録推進運動を用いて天橋立の魅力が高校生に伝え、本年度のまちづくり事業にご賛同頂ける学生を募りました。そして3校の学生より集まった有志により数回の学生会議を開催し、1つのシンボルマークを作り上げ、行政関係者並びに関係各諸団体の皆様をお招きし、発表会をしました。発表会では、学校ごとに天橋立の良い所悪い所等それぞれ発表しました。シンボルマークのデザインは、天橋立の海や砂浜、松並木を表現したものになりました。



「スーパーKid's ハーモニー」

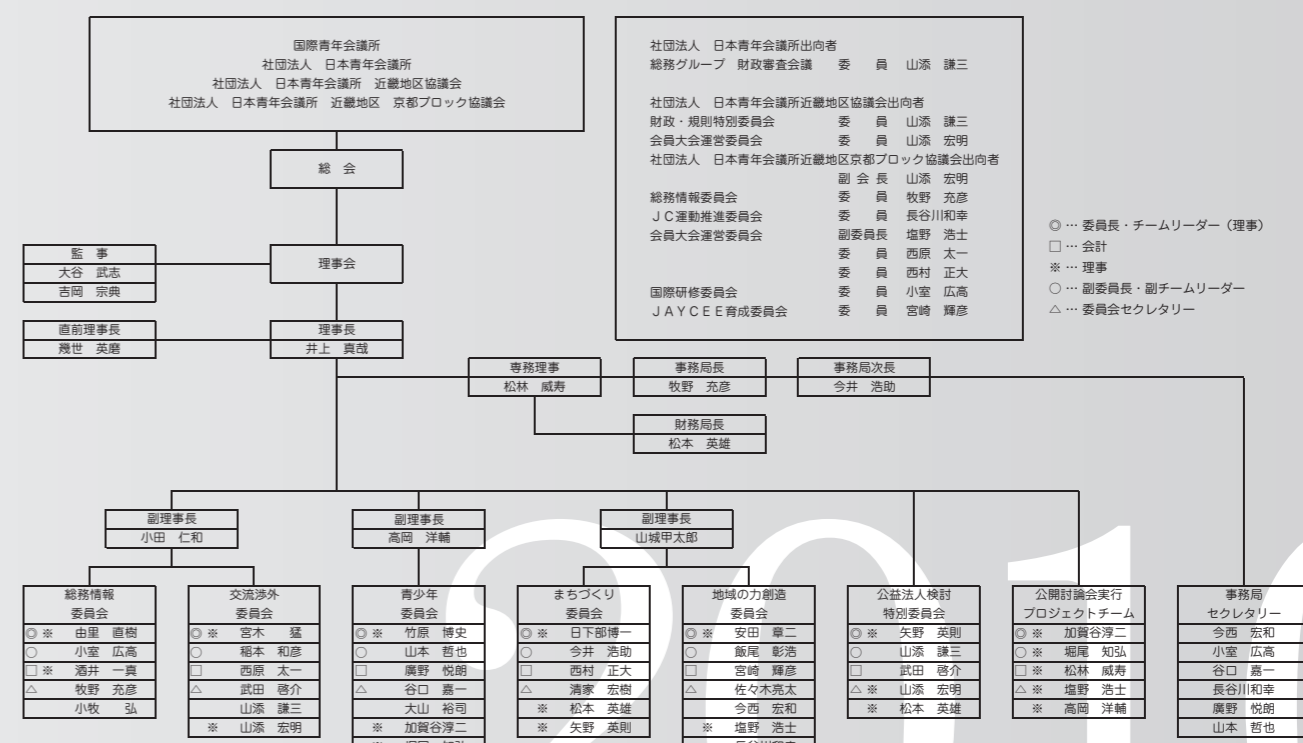
～成功体験からはじめよう! 夢への第一歩～



日時:2010年10月23日(土)
場所:野田川わくばる

宮津与謝地域の小学生を集めて合唱団を結成し、発表会に向けた練習を7月より毎週日曜日全11回にわたり実施しました。また、夏休みには子供たちが1日を使って発表会に使用する看板や招待状を作成し、お昼ごはんをみんなで作って食べたりするなど、共に友情を育みました。そして、青少年事業「スーパーKid's ハーモニー」発表会を開催しました。一生懸命練習し、歌う楽しさに触れ、豊かで強い心を育んだ子ども達が、ホールを埋める満員の観客を前に、堂々とその歌声を披露しました。当日の会場は心を込めて歌う子供たちと観客の笑顔に包まれ、充実感あふれる発表会となりました。その後、宮津キッズハーモニーが結成され、活動されています。子どもたちに歌うことを通し、友情と豊かで強い心を育む環境をつくる事業となりました。

2010年度 (社)宮津青年会議所 組織図



(スローガン)

魅力親和

己を信じ「進化」というバトンを持って!

第44代理事長 吉岡宗典

【基本方針】 1.「魅力ある人」になろう 2.「魅力ある団体」に成長しよう 3.「魅力あるまち」を提案しよう

天橋立世界遺産登録推進運動 「宝探しアドベンチャー天橋立」～身近に感じよう地域のたからもの～

日時:2011年10月30日(日)
場所:天橋立松並木

宮津・与謝地域の親子の132名の親子の方にご参加いただき、天橋立松並木内にある松や砂浜、名所などに直接触れ、楽しみながら天橋立を感じていただける宝探しゲームをしました。その後、写真パネルを使って天橋立の松や砂浜が、自然の力だけで成り立っていないこと、そこには必ず人の手が加わっていることを伝え、みんなの手で守ってほしいという思いを込めて、天橋立を手形で表現したイラストを制作しました。そして、その手形イラストを路線バス3台にラッピング加工し、1年間丹後地域を走らせる事業をしました。この事業を通して、子どもから大人までの様々な世代に向け、地域の象徴である天橋立を身近に感じ、守り伝えようという思いを醸成し、ラッピングバスを走らせることにより天橋立世界遺産登録推進運動の気運を高める事業となりました。



「ONE PIECE プロジェクト」 ～共感、心でつむいだ地域の魅力～



日時:2011年9月15日(木)
場所:与謝野町立生涯学習センター知遊館

地域活性化事業として、宮津市・伊根町・与謝野町の各関係機関の皆さんをお招きし、先進事例である由布院を参考に日常観光型まちづくりへの方向性を提案しました。そして、ひとつの地域特性イメージを地域の皆さんが意識を共有する必要があることを説明し、宮津・与謝地域の共有できるイメージ映像として、「神々の創りし国」を作成し、披露しました。

その後、新聞紙面や地域広報誌にも掲載され、そのイメージ映像がイベント等で使用されたり、地域内事業者やNPO法人からの映像の提供依頼があるなど、実際の映像の活用と伝播につながっており、今後の地域内への意識の共有に向けた一歩が踏み出せた事業となりました。

「なるほどなっとく! まちの政治」 ～みんなで描こうまちの未来!～

日時:2011年6月24日(金)
場所:与謝野町立生涯学習センター知遊館

自分たちの生活に関わる政治について、その仕組みをより理解していただける事業を開催しました。

まちの政治、特に議会に焦点を当て、落語家 桂福団治さんに政治の仕組みを笑いを加えながら解りやすく説明して頂きました。

そして、宮津市・伊根町・与謝野町の議員さんをお招きし、パネルディスカッションで今の政治や今後の方向性を話して頂きました。ご参加いただいた皆様には、少しでもまちの政治を理解していただいた事業となりました。



第39回京都ブロック会員大会 宮津大会

日時:2011年5月22日(日)
場所:宮津会館、元伊勢一宮籠神社

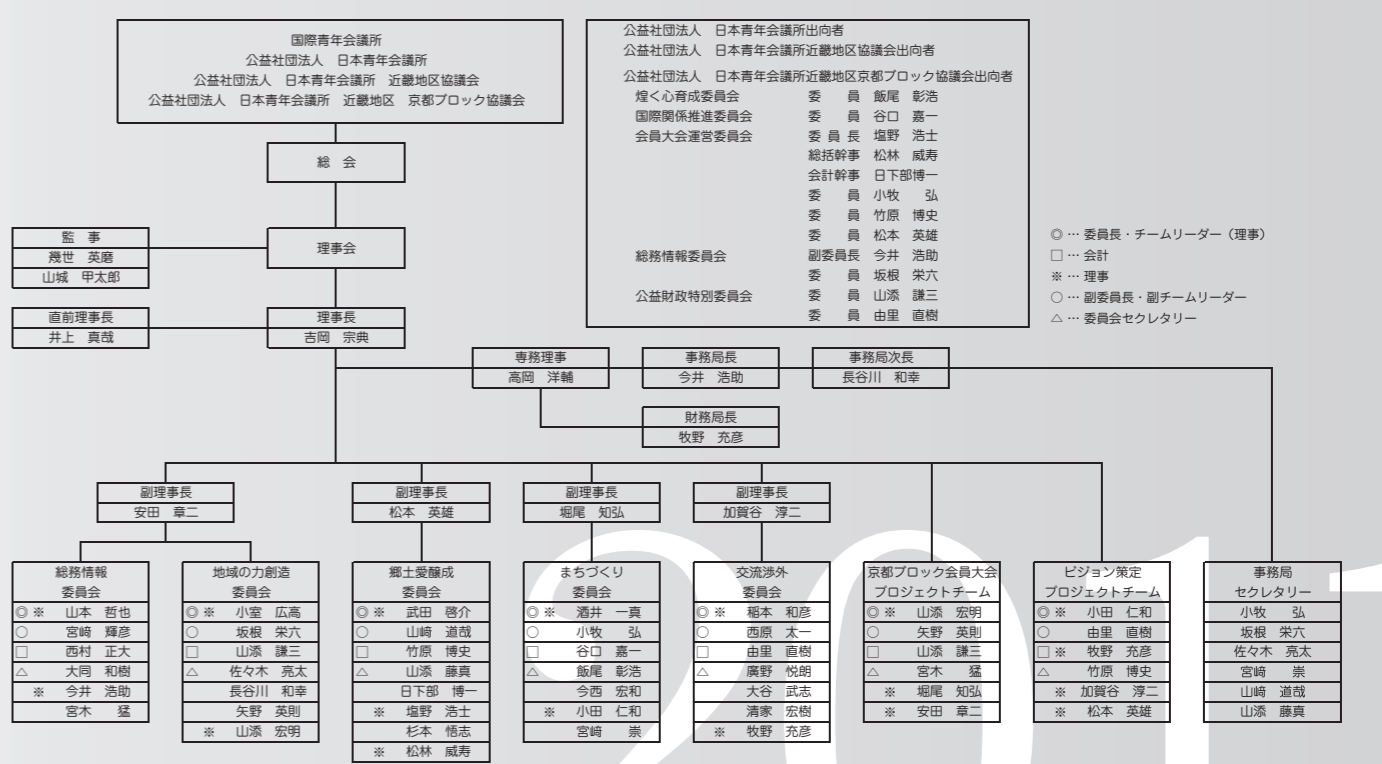
13年に一度の宮津大会を京都ブロック協議会主催のもと、宮津青年会議所主管として「郷土愛～誇りを胸に共に育む煌めく京都～」をテーマに開催いたしました。

宮津会館では式典・フォーラムが行われ、安倍晋三氏に「誇れますか?あなたのまち」というテーマでご講演・パネルディスカッションをして頂き、宮津与謝の取り組みをお話して頂きながら、郷土愛を発信できたと思います。

また会場を元伊勢一宮籠神社様にご協力頂き、風土祭(フードフェスタ)を開催しました。宮津与謝の食を広めるとともに、地元の方々にも郷土の素晴らしさを感じて頂けたと思っております。



2011年度 (社)宮津青年会議所 組織図





(スローガン)

『絆の力』

～想いをひとつに 誇れる宮津・与謝の創造！～

第45代理事長 山添 宏明

- 【基本方針】
1. ひとむきな想いで団体運営に挑戦し続けよう
 2. ひとむきな想いで交流活動に挑戦し続けよう
 3. ひとむきな想いでひとづくりに挑戦し続けよう
 4. ひとむきな想いでまちづくりに挑戦し続けよう
 5. ひとむきな想いで組織づくりに挑戦し続けよう

「まちづくり寺子屋」～数字で見るわがまち～

日時：2012年4月19日(木)
場所：与謝野町立生涯学習センター知遊館

自分たちのまちの現状を理解し、当事者意識を持つことを目的とした事業を開催しました。宮津市と与謝野町の職員さんによる自分たちのまちの現状を説明していただいたあと、グループに分かれ、人口推計や財政状況を鑑み、この先の地域の将来について幅広くディスカッションをしました。その中では、人口減少に歯止めをかけるために単身者に課税をといった意見も出て、若者ならではの発想で意識を共有しあえました。



議員懇談会「まちづくり作戦会議」～10年後を考えて、今、話し始めよう～

(宮津市議会)
日時：2012年8月27日(月)
場所：みやつ歴史の館

(与謝野町議会)
日時：2012年9月5日(水)
場所：野田川わーくばる

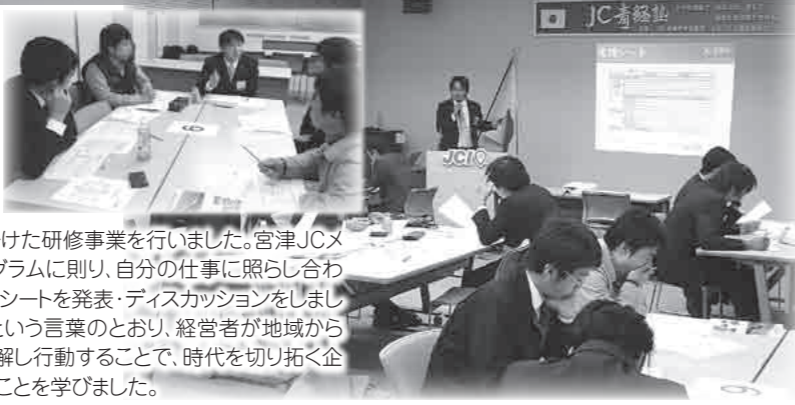
宮津市議会と与謝野町議会の議員有志の皆様と議員懇談会を開催しました。まちづくり作戦会議と題し、自分たちの地域の今後をどうあるべきかなど議員の皆様と意見交換しました。懇談会では、「希望が持てる社会であるかどうか、この地域に住んで子供を育て生計が立てられるかどうか、独身者が多い、結婚た。」「丹後一体となり地域活性化を考えるべきであり、情報発信を高めること、全員が着物をきているまちにする。」といった意見が出たりと両議会の皆様との意義のある交流の場となりました。



JC青経塾 ～8つの満足で、あなたが、そして、あなたの企業が変わる～

日時：2012年11月16日(金)
場所：与謝野町立生涯学習センター知遊館

公益社団法人日本青年会議所地域グループ企業未来デザイン委員会の皆様をお招きし、公益社団法人日本青年会議所のプログラムを用い、これからの企業の環境づくり、リーダーの育成等、地域から必要とされる力強い企業経営の確立にむけた研修事業を行いました。宮津JCメンバーの他、地域青年経済人の方々と共に、プログラムに則り、自分の仕事に照らし合わせ、8つの満足をリーダーチャートに表したり、実践シートを発表・ディスカッションをしました。企業は、経営者の器以上には大きくなりえないという言葉のとおり、経営者が地域から必要とされる企業づくりの基礎「8つの満足」を理解し行動することで、時代を切り拓く企業となり、自分たちの地域を良くすることが出来ることを学びました。



創立45周年記念式典・懇親会

日時：2012年6月3日(日)
場所：天橋立宮津ロイヤルホテル

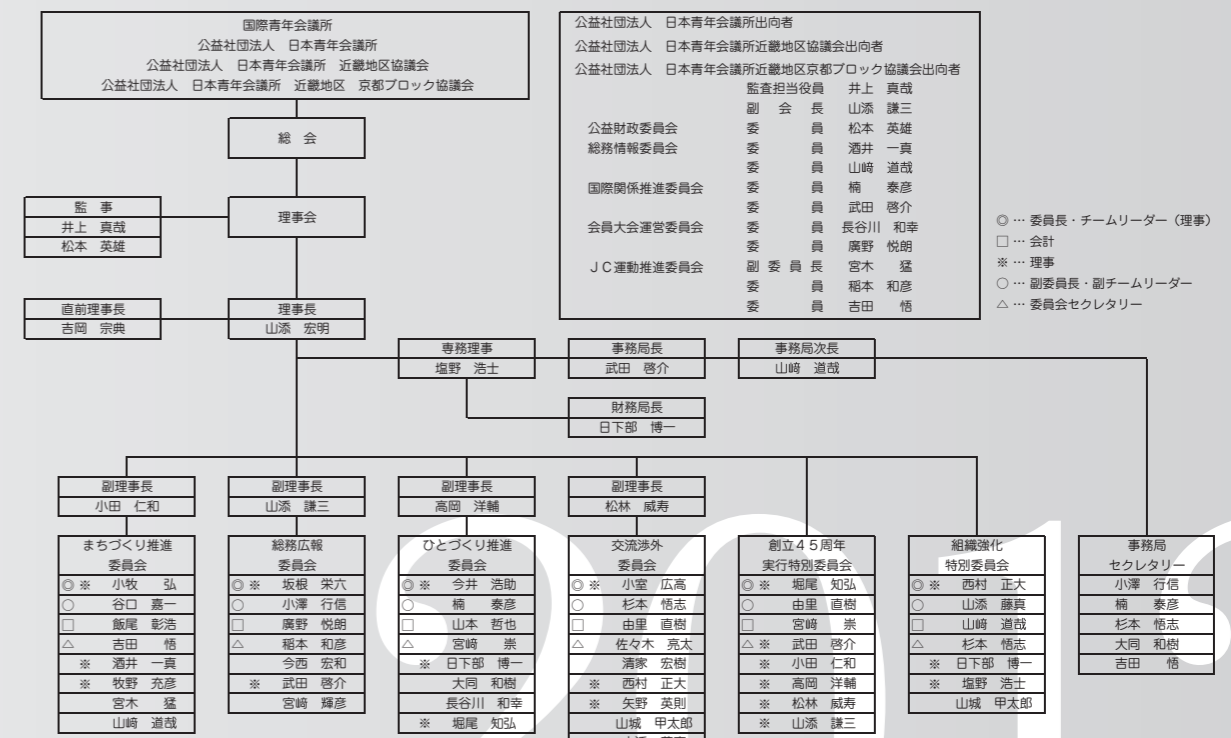
(社)宮津青年会議所創立45周年スローガン“carpe diem”～今を生き今を楽しめ明日のために～と題し、記念式典・懇親会を開催しました。式典では、行政関係機関の皆様をはじめ歴代理事長並びにJC関係者など大変多くの方にご参加いただきました。また、スポンサーJCである(社)舞鶴青年会議所へ感謝状の贈呈や宮津JCの50周年にむけての活動方針を披露しました。

懇親会では、台湾大松山の子どもたちと宮津・与謝の子どもたちの絵画交流事業の絵画表彰や宮津青年会議所の2010年度事業から派生した宮津キッズハーモニーの皆さんの歌声の披露、そして大松山メンバーからの東日本大震災の復興祈願の寄せ書きの披露やマグロの解体ショーを行い、盛況な懇親会となりました。

絆の力を深めることができた素晴らしい記念式典・懇親会でした。



2012年度 (社)宮津青年会議所 組織図



創立45周年記念事業

「Tangoちりめん劇場」

～今日から地域が好きになる～ ひとづくり推進委員長 今井 浩助



日時：2012年 8月19日(日)
場所：岩滝ふれあいセンター

この事業は、地域の宝である丹後ちりめんの歴史を演劇とクイズで学び、それらの想いを表現したオリジナルかるたを使って遊んで頂くことで、楽しみながら知識として残るように、また、事業後にも友人や家族と遊んでいたたり、将来改めてかるたを見ることで地元を思い出し、自らも地域の魅力を発信できる語り手として成長するきっかけづくりをするものです。

事業当日は、宮津・与謝の親子122名のご参加をいただき、マザーグースの会の語り部の皆さんとJCメンバーによる演劇で丹後ちりめんの歴史を学びながら楽しみました。その後のオリジナルかるたを使うのかるた大会では、子供たちが真剣にかかるたりをしてる姿が印象的でした。



Poster for 'Tango chirimen Gekko' event on 8/19. It includes details like '参加無料' (free participation), 'オリジナルかるたがもらえるよ!' (get original cards!), and 'わがいが教えてあげよう' (my parents will teach you!). The event is held at Iwatsubo Fureai Center.

天橋立世界遺産登録推進運動 創立45周年記念事業

「一期一絵」

～ひと筆に想いを込めて～



まちづくり推進委員長 小牧 弘

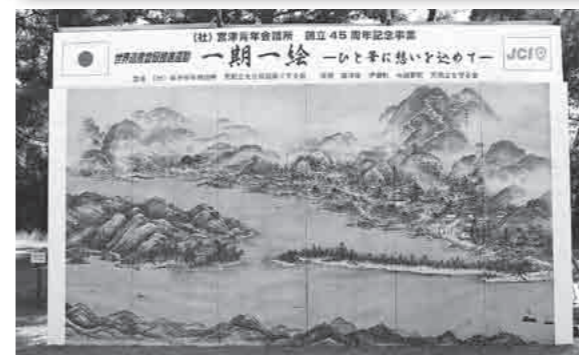
Poster for 'Ikkoku Ikkai E' (One picture, one brushstroke) event on 10/21. It features a large traditional Japanese ink wash painting of a landscape. Text includes: 日時：2012年10月21日(日), 場所：(晴天時)天橋立松並木 (雨天時)みやづ歴史の館 文化ホール, 開会：13時00分 閉会：15時15分.

日時：2012年 10月21日(日)
場所：天橋立松並木

この事業は、国宝としても知られる天橋立図の巨大模写絵を作成することで、日常の中で天橋立の価値を再考する機会をつくり、かつ、天橋立を大切に護り伝えていこうという世界遺産登録推進運動の波及につながることを目的としています。

事業当日は、巨大模写絵のパネルを18のパーツに分け、あらかじめ薄く下絵が描いてある各パーツに約150名の参加者一人一人が筆を入れました。

そして、この世界遺産登録に向けた皆さんの想いの寄せ書きともいえる巨大模写絵のパネルを看板化し、パーキングはままちに大きく掲示、世界遺産登録推進運動のPRとしました。



継続事業 — 国際交流事業 —

姉妹JC台湾大松山国際青年商會

【公式訪問】



【絵画交流事業】



その他の活動

クリーンはしだて1人1坪大作戦



迎春天橋立一斉清掃



由良川てんころ舟レースに参加



近畿地区野球大会に参加



JCカップ (2010年度宮津与謝サッカー協会に移管)



みやづキャスルハッスルに参加



天橋立を世界遺産にする会シンポジウム

特別対談

第2代理事長

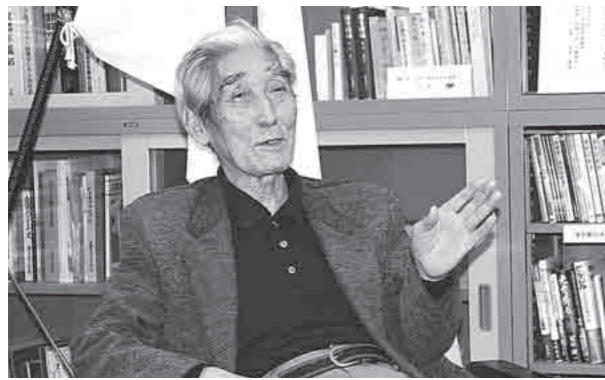
平井浩治郎先輩

第45代理事長

山添 宏明



～ 今伝えたい創始の想い ～



創立の経緯について

山添 本日はどうぞ宜しくお願い致します。早速ですが、平井先輩は第2代理事長で設立当時のチャーターメンバーとして大変ご尽力をいただいたわけですが、この宮津青年会議所を立ち上げるにあたって改めて当時の想いなどを聞かせていただければと思います。はじめに設立当初はどのような動きがあったのでしょうか。平井 設立当時、宮津には45歳以下の若者の集まりで宮津青年委員会があり私もその団体に入会しておりました。その頃、舞鶴JCの方から青年会議所をつくってほしいかと打診があり、この場所(現在の宮津商工会議所)の応接間でお会いしました。当時は説明されても私たちは実際にはどのようなものかということが全くわかりませんでした。また、宮津には青年委員会があるとの理由でお断りしていました。色々話を聞くうちに、ではメンバーを集めて聞いてみようということになり、現在の金下歯科さんの場所に以前にあった集会所の2階で発起人会を開きました。

仮の青年会議所

山添 発起人となるメンバーは何名くらいでしたか？ 平井 11か12名だったと思います。発起人会のメンバーで相談した結果、井の中の蛙でいけない、だから活動エリアも一市四町にして一度井戸の中から飛び出してみようじゃないかということで話がつかまりました。それから会費を集めてこの年の7月14日に全員に集ってもらい青年会議所の設立総会と発会式を天橋立ホテルで行いました。その時の入会者は50名でした。山添 50名ですか？多いですね。平井 その後認証伝達式までに集まったのが5名でこのメ

ンバーがチャーターメンバーです。その後5名が入会され60名となりました。山添 同士が増えていったわけですね。平井 宮津青年会議所は1968年12月14日に認証をいただきました。ちなみに初代の理事長は17日間の任期でした。山添 とても短い任期ですね。平井 理事長については翌年も初代の理事長である永井くんが続けると思っていました。しかし永井くんより第2代の理事長は平井くんであると告げられ、驚きましたね。今でもあれは永井くんの裏工作があったのらうと思っています。やりたくなかったのか、もしくは認証伝達式の実行委員長をやろうと思っていたのかもしれません。山添 手続きで苦労はなかったですか。平井 12月14日に書類を提出したわけですが、少しでも間違いがあると大変だということで、数名が東京に行っていました。そこで、メンバー全員の学歴を記入するところで記入漏れがあったんです。急いで夜中に電話をかけて確認したのを覚えています。山添 全員ですか？ 平井 ええ、それでやっと入会することが出来て本当に大変でした。山添 認証伝達式は翌年1969年の5月3日でした。設立から一年ほどかかっていたわけですか。平井 認証伝達式が終わるまでは仮宮津青年会議所と言われました。認められていない訳だから。京都、滋賀、奈良などの色々な会議に出席した際にも「仮の青年会議所」と言われるのが嫌でした。だから本当に物凄く勉強しました。山添 認証伝達式までにどのようなご苦労がありましたか。平井 やはりやりかけたからには先頭に立ってやらなければならなかったので滋賀県の高島JC、大阪の柏原JCの認証伝達式を視察に行きました。戻ってからは認証伝達式の委員長、副委員長、委員を任命してとにかく半年間は仕事もせずにJC活動ばかりしていました。

理事長、直前理事長をして卒業

山添 設立総会、認証伝達式と続き、まさに激動の2年間だったということですね。平井 理事長、直前理事長をして卒業しました。青年会議所を短命で出入りしたのは私くらいですかね。山添 先ほど設立時に50名集められたとおっしゃってられました。当時は全国で順番にJCが設置されていっているような時代でJCに勧誘してもJCが何なのか

分からない方が沢山おられたと思うのですが、どのような方法で勧誘されておられたのですか？ 平井 地元の人が地元の人を呼んでくるような勧誘方法でした。徐々にメンバーが増えていき、100名を超えたころには全員の名前を覚えるのは大変でしたね。

活性化というのは人口が増えていくこと

山添 最近の宮津JCの活動に何か感じられることはありますか？ 平井 今やろうとしていることであればそれでいいのではないかと思います。ただ思うのは不景気の影響で宮津青年会議所だけではなく様々な団体のメンバー数が全国的に激減しているのが気になっています。このような状態でどんな活動をやっていけばいいのかわからなくなっているのではないのでしょうか。山添 何をやるかということもありますし、今後はだんだん何が出来るかという状況にも変わっていくと思います。平井 私もし役所や近所の方々と宮津も活性化しなければいけないなどとお話するのですが、皆、活性化というのがどのようなことかわからなくなっています。私は活性化というのは人口が増えていくことではないかと思っています。昔は宮津市の人口が38,000人だったのが今では半分の18,000人にまで減っていますが、人口が減っての活性化は有り得ないのではないのでしょうか。今の宮津市には活性化の兆しがなく、その中で宮津青年会議所は何をしていくべきなのか考えていくべきであり、単独事業をやるのか、継続事業をやるのかのどちらかだと思います。山添 私は子どもが本当に参加したいと思うような継続事業をやっていくのがいいのではないだろうかと思っています。平井 昔は宮津青年会議所が実行委員会という形で他の団体を巻き込んでちびっ子祭りという継続事業がありましたよね。比較的、日本青年会議所は継続事業を重視する方向になってきていますので先輩がおっしゃられたような考え方です。やはり公益的に色々な方に参加していただけるような事業を企画しないと自己満足で終わってしまい、JCそのものが認知していただけないのかなと思っています。山添 子どもたちが親を引っ張っていき本当に楽しめるような内容の事業を考えてほしいですね。そうするとJCの地域への認知度も高まると思います。平井 JCとはどうあるべきだと思いますか？ 山添 今やっていることは悪いことではないし私はいいと思います。別段変えなければいけない悪い種があるわけではないですからね。強いて言うならば会員数の増強ですかね。山添 今現在、京都府内には13の青年会議所がありますが会員数では宮津青年会議所が府内で4番目で、現在は43名です。府内全域でも昔は1,000名ほどおられた会員数も今は500人くらいに会員数が激減し、LOM自体での活動も困難な青年会議所もあるなど大変厳しい状況にあります。宮津JCは人数は多い方ですけれども例会や事業への出席率などが下がってきています。平井 やはり人数が多くなると会自体の維持が困難になってきますよね。山添 そうですね、人数が少なくて事務員さんがおられないLOMもあります。平井 まだ宮津JCは会員拡大を頑張っているほうですか？ 山添 そうですね、まだ京都府内では頑張っている傾向にありますが決していい状況ではありませんね。会員拡大は大きなテーマではありますが、先ほどのお話にもありましたように人口減少が原因で対象者も減少してきております。平井 先ほどお話ししましたが、やはり人口が増えたと会社の



山添 2代目、3代目の若者もこのまちなに残ってくれると思います。人口の減少は悪い方向にばかりいってしまっていますね。平井 人口の話が沢山出てきましたけれども、この宮津与謝地域の今後の未来を見た展望を考えるとやはり人口問題というのは宮津に限らず全国的に抱えている問題です。山添 その中でも私たちを含めた地元の企業であったり、ここで暮らす私たちが元気であるということが大きなエネルギーという要因かなと思っています。平井 やはり企業誘致というの大きな問題となってきますね。宮津市として企業誘致の話は何社かあったとは聞きましたが、市の援助や立地条件などの課題があり誘致までは至らなかったみたいですね。

世界遺産登録推進運動について

山添 宮津与謝地域にとって貴重な宝である天橋立を世界遺産に登録しようと地域をあげて、また宮津青年会議所でも世界遺産登録推進運動として天橋立を世界遺産にする会と共催で重点的に取り組んでいます。活動としては年に2回同じ内容ではなく毎年違った内容で事業を行い、2008年にはHAND in HAND天橋立としまして2200名ほど集ってもらい京都ブロック協議会の褒賞のグランプリをいただきました。また翌年は宮津与謝ふるさと絵巻をしてい宮津与謝地域の昔話を題材にした絵本を作成し、それを発信していくという事業を開催させていただき、こちら京都ブロックの褒賞、また日本青年会議所の褒賞の地域の宝発掘部門で優秀賞をいただきました。その後も世界遺産登録に向けた活動を継続しており地域に根ざした、地域の方に想いを伝えるような事業をさせていただいております。このような活動をしている宮津青年会議所に対して思われることがあればお聞かせください。平井 宮津市が中心となってやっていかなければならない活動でもあり、また地域の方々の想いがそうあるべきではないといけないと思うのですが、住民全体にそういう想いが浸透していないように見えます。山添 宮津市、与謝野町、伊根町の住民の方々のほとんどがこのような活動をしているのはご存知だとは思いますが、平井先輩がおっしゃられたようにどこか人ごとであり関係がないと思っておられる方もあります。山添 本当は地域全体でやらなければならないはずなのですが、さらに機運を高めることが必要であると感じられます。先ほどもありましたが人口減少、流出もある中で活性化するための起爆剤と考えられるのは限りなくこの天橋立世界遺産登録運動ではないかと私は思います。平井 地域が一体となるためにも宮津青年会議所として住民の方々の意識改革を訴えていきたいと思っています。山添 やはり世界遺産に認定する方々が宮津を見て活発に取り組んでいるなと思わせるようなまちでなければ駄目ですね。平井 本日はお忙しい中本当にありがとうございました。

メンバー紹介

理事長 山添 宏明
座右の銘 『今を真剣に生きる』
勤務先: ㈱山添電気 生年月日: 1974年8月生

直前理事長 吉岡 宗典
座右の銘 『魅力親和』
勤務先: 吉岡登記測量事務所 生年月日: 1973年9月生

副理事長 小田 仁和
座右の銘 『合縁奇縁』
勤務先: ㈱松和物産 生年月日: 1973年12月生

副理事長 山添 謙三
座右の銘 『小人閑居して不善を為す』
勤務先: 山添税理士事務所 生年月日: 1972年7月生

副理事長 高岡 洋輔
座右の銘 『未来志向』
勤務先: ㈱高岡建材 生年月日: 1975年7月生

副理事長 松林 威寿
座右の銘 『日々進化! 今日より明日、成長することを信じる!』
勤務先: ㈱松林 生年月日: 1977年8月生

専務理事 塩野 浩士
座右の銘 『素直に生きる』
勤務先: ㈱シオノ鑄工 生年月日: 1975年7月生

監事 井上 真哉
座右の銘 『明珠在掌 (みよじゆたなごころにあり)』
勤務先: ZAG空間設計舎 生年月日: 1972年4月生

監事 松本 英雄
座右の銘 『宝は足下にある』
勤務先: 小林美工社 生年月日: 1974年2月生

まちづくり推進委員会 委員 酒井 一真
座右の銘 『楽しく生きていきたいものです』
勤務先: 東朋㈱ 生年月日: 1978年1月生

まちづくり推進委員会 委員長 小牧 弘
座右の銘 『百聞は一見に如かず』
勤務先: 小牧合同事務所 生年月日: 1973年12月生

まちづくり推進委員会 委員 牧野 充彦
座右の銘 『感謝』
勤務先: 牧野建設㈱ 生年月日: 1974年10月生

まちづくり推進委員会 副委員長 谷口 嘉一
座右の銘 『一期一会』
勤務先: ㈱谷口商店 生年月日: 1975年12月生

まちづくり推進委員会 委員 宮木 猛
座右の銘 『人生なんとかなるはずだ!』
勤務先: 食堂・旅館 大江山 生年月日: 1974年5月生

まちづくり推進委員会 委員 飯尾 彰浩
座右の銘 『富士酢』
勤務先: ㈱飯尾醸造 生年月日: 1975年7月生

まちづくり推進委員会 委員 山崎 道哉
座右の銘 『人生情性』
勤務先: 山崎電気㈱ 生年月日: 1983年5月生

まちづくり推進委員会 委員 吉田 悟
座右の銘 『一生懸命』
勤務先: 吉田設計 生年月日: 1979年12月生

まちづくり推進委員会 委員 関野 祐
座右の銘 『人生に偶然はない』
勤務先: ㈱損害保険ジャパン 生年月日: 1988年1月生

総務広報委員会 委員長 坂根 栄六
座右の銘 『報恩感謝・文武両道』
勤務先: 宮津市議会議員 生年月日: 1978年2月生

総務広報委員会 委員 稲本 和彦
座右の銘 『七転八倒』
勤務先: 稲本左官 生年月日: 1976年1月生

総務広報委員会 副委員長 小澤 行信
座右の銘 『なせば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり』
勤務先: 宗教法入江西寺 生年月日: 1974年10月生

総務広報委員会 委員 今西 宏和
座右の銘 『常に楽しく』
勤務先: 麵家 チャクリキ 生年月日: 1978年11月生

総務広報委員会 委員 廣野 悦朗
座右の銘 『自分で努力して耕した畑でなければ、自分に合った人材は集められない』
勤務先: 明田屋造園 生年月日: 1977年4月生

総務広報委員会 委員 武田 啓介
座右の銘 『全力投球!』
勤務先: ㈱興楽 生年月日: 1982年2月生

ひとづくり推進委員会 委員長 今井 浩助
座右の銘 『心腹の友をつくる』
勤務先: 今井織物㈱ 生年月日: 1982年3月生

総務広報委員会 委員 宮崎 輝彦
座右の銘 『遊び心』
勤務先: 宮眞㈱ 生年月日: 1974年7月生

ひとづくり推進委員会 副委員長 楠 泰彦
座右の銘 『努力に勝る天才なし』
勤務先: クスカ㈱ 生年月日: 1976年12月生

ひとづくり推進委員会 委員 大同 和樹
座右の銘 『一生懸命』
勤務先: ㈱木下建窓 生年月日: 1979年4月生

ひとづくり推進委員会 委員 山本 哲也
座右の銘 『明日は明日の風が吹く』
勤務先: 山本工務店 生年月日: 1974年5月生

ひとづくり推進委員会 委員 長谷川 和幸
座右の銘 『闘魂注入』
勤務先: 長谷川瓦店 生年月日: 1977年3月生

ひとづくり推進委員会 委員 宮崎 崇
座右の銘 『継続は力なり』
勤務先: フローリストポポ 生年月日: 1972年6月生

ひとづくり推進委員会 委員 堀尾 知弘
座右の銘 『至誠を尽くす』
勤務先: ㈱堀尾デンキ 生年月日: 1978年1月生

日下部博一
ひとづくり推進委員会 委員
座右の銘 『技術は人なり』
勤務先: 日下部建築(株) 生年月日: 1979年11月生

羽瀧貞良
ひとづくり推進委員会 委員
座右の銘 『感謝』
勤務先: 宗教法人西光寺 生年月日: 1981年11月生

小室広高
交流渉外委員会 委員長
座右の銘 『一意専心』
勤務先: 小室看板店 生年月日: 1976年8月生

杉本悟志
交流渉外委員会 副委員長
座右の銘 『No pain, no gain. 苦勞なくして得るものなし』
勤務先: 加悦商事企業組合杉本鉄工所 生年月日: 1978年1月生

由里直樹
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥』
勤務先: 由里機業場 生年月日: 1977年5月生

山城甲太郎
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『日々成長』
勤務先: 山城建設(株) 生年月日: 1973年6月生

佐々木亮太
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『練習でかいた汗はウソをつかない』
勤務先: (株)トラスト・38 生年月日: 1986年1月生

矢野英則
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『夢しか実現しない』
勤務先: (有)サンフレッシュ 生年月日: 1978年2月生

清家宏樹
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『一期一会』
勤務先: 里凡 生年月日: 1972年10月生

山添藤真
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ』
勤務先: (株)山藤 生年月日: 1981年12月生

西村正大
交流渉外委員会 委員
座右の銘 『Even better beautiful tommorow』
勤務先: (株)ホテル北野屋 生年月日: 1976年10月生

特別会員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 西馬 1970年卒業 | 中山 1971年卒業 | 横村 1972年卒業 | 今林 1973年卒業 | 村井 1974年卒業 | 井欽 1975年卒業 | 治一郎 1976年卒業 | 岩男 1977年卒業 | 利彦 1978年卒業 | 千秋 1979年卒業 | 田辺 1980年卒業 | 羽淵 1981年卒業 | 安田 1982年卒業 | 羽忠 1983年卒業 | 安浩 1984年卒業 | 田二 1985年卒業 | 福健 1986年卒業 | 梅貞 1987年卒業 | 倉橋 1988年卒業 | 明石 1989年卒業 | 小谷 1990年卒業 | 廣陽 1991年卒業 | 英一 1992年卒業 | 依米 1993年卒業 | 依一 1994年卒業 | 清水 1995年卒業 | 山中 1996年卒業 | 井村 1997年卒業 | 庄上 1998年卒業 | 稲葉 1999年卒業 | 矢野 2000年卒業 | 三井 2001年卒業 | 伊藤 2002年卒業 | 高岡 2003年卒業 | 三野 2004年卒業 | 正昭 2005年卒業 | 繁夫 2006年卒業 | 紀昭 2007年卒業 | 土田 2008年卒業 | 一雄 2009年卒業 | 平井 2010年卒業 | 河井 2011年卒業 | 浩治 2012年卒業 | 舜舜 2013年卒業 | | | | | | | | |
| 倉田 1984年卒業 | 松浪 1985年卒業 | 尾藤 1986年卒業 | 小田 1987年卒業 | 吉岡 1988年卒業 | 日引 1989年卒業 | 衣川 1990年卒業 | 伊藤 1991年卒業 | 安藤 1992年卒業 | 藤四 1993年卒業 | 安光 1994年卒業 | 幾世 1995年卒業 | 岩清 1996年卒業 | 幾清 1997年卒業 | 徳文 1998年卒業 | 茶生 1999年卒業 | 金谷 2000年卒業 | 糸井 2001年卒業 | 牛田 2002年卒業 | 狩野 2003年卒業 | 勝野 2004年卒業 | 枝山 2005年卒業 | 上田 2006年卒業 | 宮本 2007年卒業 | 安達 2008年卒業 | 宮崎 2009年卒業 | 細野 2010年卒業 | 矢野 2011年卒業 | 細見 2012年卒業 | 矢野 2013年卒業 | 幸延 2014年卒業 | 延彦 2015年卒業 | 幸雄 2016年卒業 | 安司 2017年卒業 | 宮司 2018年卒業 | 宮司 2019年卒業 | 安司 2020年卒業 | 安司 2021年卒業 | 安司 2022年卒業 | 安司 2023年卒業 | 安司 2024年卒業 | 安司 2025年卒業 | 安司 2026年卒業 | 安司 2027年卒業 | 安司 2028年卒業 | 安司 2029年卒業 | 安司 2030年卒業 | | | | | |
| 向岸 1988年卒業 | 藤原 1989年卒業 | 野間 1990年卒業 | 浪野 1991年卒業 | 石江 1992年卒業 | 上田 1993年卒業 | 尾山 1994年卒業 | 西村 1995年卒業 | 下田 1996年卒業 | 碓井 1997年卒業 | 森垣 1998年卒業 | 仲野 1999年卒業 | 奥野 2000年卒業 | 飯尾 2001年卒業 | 三富 2002年卒業 | 武田 2003年卒業 | 小堀 2004年卒業 | 堀林 2005年卒業 | 宇田 2006年卒業 | 明石 2007年卒業 | 坂東 2008年卒業 | 伊部 2009年卒業 | 小北 2010年卒業 | 向井 2011年卒業 | 安達 2012年卒業 | 安達 2013年卒業 | 前野 2014年卒業 | 森垣 2015年卒業 | 戸田 2016年卒業 | 上田 2017年卒業 | 大森 2018年卒業 | 大田 2019年卒業 | 大田 2020年卒業 | 大田 2021年卒業 | 大田 2022年卒業 | 大田 2023年卒業 | 大田 2024年卒業 | 大田 2025年卒業 | 大田 2026年卒業 | 大田 2027年卒業 | 大田 2028年卒業 | 大田 2029年卒業 | 大田 2030年卒業 | | | | | | | | | |
| 四河 1993年卒業 | 澤宮 1994年卒業 | 宇野 1995年卒業 | 関野 1996年卒業 | 泉裕 1997年卒業 | 有裕 1998年卒業 | 井秀 1999年卒業 | 井孝 2000年卒業 | 井孝 2001年卒業 | 井孝 2002年卒業 | 井孝 2003年卒業 | 井孝 2004年卒業 | 井孝 2005年卒業 | 井孝 2006年卒業 | 井孝 2007年卒業 | 井孝 2008年卒業 | 井孝 2009年卒業 | 井孝 2010年卒業 | 井孝 2011年卒業 | 井孝 2012年卒業 | 井孝 2013年卒業 | 井孝 2014年卒業 | 井孝 2015年卒業 | 井孝 2016年卒業 | 井孝 2017年卒業 | 井孝 2018年卒業 | 井孝 2019年卒業 | 井孝 2020年卒業 | 井孝 2021年卒業 | 井孝 2022年卒業 | 井孝 2023年卒業 | 井孝 2024年卒業 | 井孝 2025年卒業 | 井孝 2026年卒業 | 井孝 2027年卒業 | 井孝 2028年卒業 | 井孝 2029年卒業 | 井孝 2030年卒業 | 井孝 2031年卒業 | 井孝 2032年卒業 | 井孝 2033年卒業 | 井孝 2034年卒業 | 井孝 2035年卒業 | 井孝 2036年卒業 | 井孝 2037年卒業 | 井孝 2038年卒業 | 井孝 2039年卒業 | 井孝 2040年卒業 | | | | |
| 入上 1999年卒業 | 河嶋 2000年卒業 | 京谷 2001年卒業 | 山崎 2002年卒業 | 山口 2003年卒業 | 松上 2004年卒業 | 尾田 2005年卒業 | 市田 2006年卒業 | 松井 2007年卒業 | 間谷 2008年卒業 | 谷口 2009年卒業 | 石口 2010年卒業 | 石口 2011年卒業 | 石口 2012年卒業 | 石口 2013年卒業 | 石口 2014年卒業 | 石口 2015年卒業 | 石口 2016年卒業 | 石口 2017年卒業 | 石口 2018年卒業 | 石口 2019年卒業 | 石口 2020年卒業 | 石口 2021年卒業 | 石口 2022年卒業 | 石口 2023年卒業 | 石口 2024年卒業 | 石口 2025年卒業 | 石口 2026年卒業 | 石口 2027年卒業 | 石口 2028年卒業 | 石口 2029年卒業 | 石口 2030年卒業 | 石口 2031年卒業 | 石口 2032年卒業 | 石口 2033年卒業 | 石口 2034年卒業 | 石口 2035年卒業 | 石口 2036年卒業 | 石口 2037年卒業 | 石口 2038年卒業 | 石口 2039年卒業 | 石口 2040年卒業 | 石口 2041年卒業 | 石口 2042年卒業 | 石口 2043年卒業 | 石口 2044年卒業 | 石口 2045年卒業 | 石口 2046年卒業 | 石口 2047年卒業 | 石口 2048年卒業 | 石口 2049年卒業 | 石口 2050年卒業 |
| 和野 2003年卒業 | 古村 2004年卒業 | 小田 2005年卒業 | 足立 2006年卒業 | 宇治 2007年卒業 | 立川 2008年卒業 | 安田 2009年卒業 | 小田 2010年卒業 | 香富 2011年卒業 | 糸富 2012年卒業 | 後藤 2013年卒業 | 矢野 2014年卒業 | 山口 2015年卒業 | 山口 2016年卒業 | 山口 2017年卒業 | 山口 2018年卒業 | 山口 2019年卒業 | 山口 2020年卒業 | 山口 2021年卒業 | 山口 2022年卒業 | 山口 2023年卒業 | 山口 2024年卒業 | 山口 2025年卒業 | 山口 2026年卒業 | 山口 2027年卒業 | 山口 2028年卒業 | 山口 2029年卒業 | 山口 2030年卒業 | 山口 2031年卒業 | 山口 2032年卒業 | 山口 2033年卒業 | 山口 2034年卒業 | 山口 2035年卒業 | 山口 2036年卒業 | 山口 2037年卒業 | 山口 2038年卒業 | 山口 2039年卒業 | 山口 2040年卒業 | 山口 2041年卒業 | 山口 2042年卒業 | 山口 2043年卒業 | 山口 2044年卒業 | 山口 2045年卒業 | 山口 2046年卒業 | 山口 2047年卒業 | 山口 2048年卒業 | 山口 2049年卒業 | 山口 2050年卒業 | | | | |
| 中村 2009年卒業 | 池本 2010年卒業 | 山本 2011年卒業 | 山本 2012年卒業 | 山本 2013年卒業 | 山本 2014年卒業 | 山本 2015年卒業 | 山本 2016年卒業 | 山本 2017年卒業 | 山本 2018年卒業 | 山本 2019年卒業 | 山本 2020年卒業 | 山本 2021年卒業 | 山本 2022年卒業 | 山本 2023年卒業 | 山本 2024年卒業 | 山本 2025年卒業 | 山本 2026年卒業 | 山本 2027年卒業 | 山本 2028年卒業 | 山本 2029年卒業 | 山本 2030年卒業 | 山本 2031年卒業 | 山本 2032年卒業 | 山本 2033年卒業 | 山本 2034年卒業 | 山本 2035年卒業 | 山本 2036年卒業 | 山本 2037年卒業 | 山本 2038年卒業 | 山本 2039年卒業 | 山本 2040年卒業 | 山本 2041年卒業 | 山本 2042年卒業 | 山本 2043年卒業 | 山本 2044年卒業 | 山本 2045年卒業 | 山本 2046年卒業 | 山本 2047年卒業 | 山本 2048年卒業 | 山本 2049年卒業 | 山本 2050年卒業 | 山本 2051年卒業 | 山本 2052年卒業 | 山本 2053年卒業 | 山本 2054年卒業 | 山本 2055年卒業 | 山本 2056年卒業 | 山本 2057年卒業 | 山本 2058年卒業 | 山本 2059年卒業 | 山本 2060年卒業 |
| 高岡 2011年卒業 | 安松 2012年卒業 | 坂根 2013年卒業 | 安松 2014年卒業 | 安松 2015年卒業 | 安松 2016年卒業 | 安松 2017年卒業 | 安松 2018年卒業 | 安松 2019年卒業 | 安松 2020年卒業 | 安松 2021年卒業 | 安松 2022年卒業 | 安松 2023年卒業 | 安松 2024年卒業 | 安松 2025年卒業 | 安松 2026年卒業 | 安松 2027年卒業 | 安松 2028年卒業 | 安松 2029年卒業 | 安松 2030年卒業 | 安松 2031年卒業 | 安松 2032年卒業 | 安松 2033年卒業 | 安松 2034年卒業 | 安松 2035年卒業 | 安松 2036年卒業 | 安松 2037年卒業 | 安松 2038年卒業 | 安松 2039年卒業 | 安松 2040年卒業 | 安松 2041年卒業 | 安松 2042年卒業 | 安松 2043年卒業 | 安松 2044年卒業 | 安松 2045年卒業 | 安松 2046年卒業 | 安松 2047年卒業 | 安松 2048年卒業 | 安松 2049年卒業 | 安松 2050年卒業 | 安松 2051年卒業 | 安松 2052年卒業 | 安松 2053年卒業 | 安松 2054年卒業 | 安松 2055年卒業 | 安松 2056年卒業 | 安松 2057年卒業 | 安松 2058年卒業 | 安松 2059年卒業 | 安松 2060年卒業 | | |
| 物故 2011年卒業 | 西村 2012年卒業 | 佐藤 2013年卒業 | 宮本 2014年卒業 | 久保 2015年卒業 | 小西 2016年卒業 | 久保 2017年卒業 | 久保 2018年卒業 | 久保 2019年卒業 | 久保 2020年卒業 | 久保 2021年卒業 | 久保 2022年卒業 | 久保 2023年卒業 | 久保 2024年卒業 | 久保 2025年卒業 | 久保 2026年卒業 | 久保 2027年卒業 | 久保 2028年卒業 | 久保 2029年卒業 | 久保 2030年卒業 | 久保 2031年卒業 | 久保 2032年卒業 | 久保 2033年卒業 | 久保 2034年卒業 | 久保 2035年卒業 | 久保 2036年卒業 | 久保 2037年卒業 | 久保 2038年卒業 | 久保 2039年卒業 | 久保 2040年卒業 | 久保 2041年卒業 | 久保 2042年卒業 | 久保 2043年卒業 | 久保 2044年卒業 | 久保 2045年卒業 | 久保 2046年卒業 | 久保 2047年卒業 | 久保 2048年卒業 | 久保 2049年卒業 | 久保 2050年卒業 | 久保 2051年卒業 | 久保 2052年卒業 | 久保 2053年卒業 | 久保 2054年卒業 | 久保 2055年卒業 | 久保 2056年卒業 | 久保 2057年卒業 | 久保 2058年卒業 | 久保 2059年卒業 | 久保 2060年卒業 | | |

編集後記

本年度、(社)宮津青年会議所は創立45周年を無事迎えることができました。これも偏に関係諸団体の皆様、地域の皆様のご協力とご理解の賜物と深く感謝しております。

この記念誌を発刊するにあたり、第2代理事長平井先輩から設立当初のお話であったり、これまでの歴史や近年5年間の活動などを振り返ることで、創始の想いは絶えず受け継がれていることへの自信と誇りを持ち、次の50周年に向けて繋げていければと願います。

この度の発刊にいたるまで、皆様方のご協力を頂きましたこと、深く感謝いたしますと共に厚くお礼申し上げます。

編集責任者 創立45周年実行特別委員会

委員長 堀尾 知弘
記念誌部会長 山添 謙三
記念誌副部会長 坂根 栄六
稲本 和彦
今西 宏和
小澤 行信
武田 啓介
廣野 悦朗
宮崎 輝彦

発行 社団法人 宮津青年会議所
〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2054-1
TEL/FAX (0772) 22-5203
URL <http://www.jcmiyazu.jp/>
E-mail jcmiyazu@tiara.ocn.ne.jp

編集 社団法人 宮津青年会議所
創立45周年実行特別委員会

印刷 三景印刷株式会社
発行 2012年12月